

教科	理科	科目	生物基礎	学年	第2学年	講座	
単位数	3 単位	教科書	改訂生物基礎（東京書籍）				
副教材	ニューアチーブ生物基礎（東京書籍）						

学習目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、観察・実験などを通じて、日常生活や社会との関連性を理解させるとともに、科学的な見方や考え方を養う。
------	---

		学習計画及び内容		考查
1 学 期	4月	生物の多様性と共通性	多様な生物にみられる共通性を学習する。	第1回考查
	5月	生命活動とエネルギー	生物の共通性としての細胞について学習する。 エネルギーと代謝について学習する。 代謝を進める酵素について学習する。 生体内におけるエネルギー変換について学習する。 ミトコンドリアと葉緑体の起源について学習する。	
	6月	生物と遺伝子	遺伝情報とDNAについて学習する。 DNAの構造について学習する。	
	7月	遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成	ゲノムと遺伝情報について学習する。 細胞周期とDNAの複製について学習する。 遺伝情報の流れについて学習する。 転写と翻訳について学習する。 遺伝子の発現と生命現象について学習する。	
2 学 期	8月	体内環境	体内環境の特徴について学習する。 心臓と血液の循環について学習する。	第3回考查 第4回考查
	9月 10月	体内環境を維持するしくみ	体内環境を調節する器官について学習する。 自律神経系と内分泌系による調節協同調節について学習する。	
	11月	免疫	生体防御と免疫について学習する。 自然免疫と適応免疫について学習する。	
	12月		免疫とヒトについて学習する。	
3 学 期	1月	植生の多様性と遷移	植生とその環境について学習する。 植生の遷移について学習する。	第5回考查 (3年1月) (1、2年 3月)
	2月	バイオームとその分布 生態系とその保全	気候とバイオームについて学習する。 陸上のバイオームについて学習する。 生態系とエネルギーの流れについて学習する。 生態系での物質の循環について学習する。	
	3月		生態系のバランスと保全について学習する。 生物多様性の保全について学習する。	

学習の方法	学習する教科書の範囲を読み、分からないところを演習ノートにチェックしておく。そして、授業で学習した範囲について演習ノートでまとめ、内容を復習する。分からないことが残っていたら次時に質問する。授業中に課された課題は、その日のうちにすませる。各定期考查前は、教科書をよく読み返しなが、演習ノートの内容を復習し、問題演習をする。理解不足なところや勉強の仕方がわからないときは随時、教科担任に質問する。
-------	---

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を化学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

備考	
----	--